

# 学校だより

NO.12 令和4年7月20日（水）

鈴鹿市立白子小学校



## 1 学期ありがとうございました

早いもので、本日1学期の終業式を終え、明日から夏休みに入ります。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の勢いが収まらない中でのスタートでした。そのような状況で、ウイルスを正しく恐れながら、教育活動の在り方を模索してきました。日々の教育活動や学校行事の在り方をどのようにするべきなのか、社会の動向を見ながら校区小中学校を中心に情報共有をして進めてきました。行動制限はあるものの、少しずつですが、活動の幅を広げていくことができました。

これも、保護者の皆様のご理解ご協力のお陰だと深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、明日からいよいよ夏休みに入ります。事故や事件に巻き込まれることのないよう、そして、健康に気を付けて、楽しく充実した夏休みを送ってください。（詳細は、本日配布しました「夏休みの生活について（B4版）」をご一読いただき、お子さんと確認をしていただきますようお願いいたします。）



## ◆4年生 総合的な学習「白子の海を守ろう」～流木アートに挑戦！！～

4年生は、1学期、社会科・総合的な学習を中心に、ごみの分別や処理の方法、ごみ削減の工夫、環境問題などの学習を進めてきました。その中で、海洋汚染の問題についても触れ、6月11日のPTA海岸清掃に多くの児童が参加してくれました。

その後、その時拾ってきた流木と校庭の伐採樹木を使って、図工科で流木アートづくりに挑戦しました。ウミガメにとって邪魔者であった流木。（産卵のために上陸したウミガメの行く手を阻むそうです。）しかし、見方を変えれば、つるつるとした手触りで独特の面白い形をしている流木は木工工作の材料にピッタリ。そこに伐採樹木から切り取った枝や小さな丸太をボンドでつけ、ポスカ（色ペン）で部分的に色付けをして完成です。

子どもたちは、流木を手にとってじ〜っと見つめ、自分のイメージにあうようなアート作品づくりに夢中で取り組んでいましたね。子どもたちの手にかかると、単なる流木が動物や昆虫などに大変身。その発想力に脱帽です。また、海洋ごみや木材資源の有効活用により、環境保全への関心も高まったのではないのでしょうか。

（裏面に制作の様子や作品の写真を掲載）

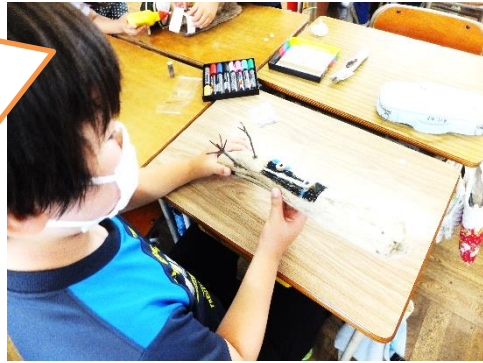


代表児童の作品を7月28日～8月16日の期間、白子公民館に展示する予定ですので、ご都合のつく方は、是非ご覧ください。



材料を吟味して、作りたいものを考えています。「何を作ろうかな？」

自分のイメージに合うように、材料をボンドでくっつけていきます。「だんだん、できてきたぞ。」



最後に目玉の飾りをつけて完成。どれも流木の形をいかした愛くるしい作品ばかりで、見ていても楽しさが伝わってきます。

## ◆新型コロナウイルス感染症に関わって

夏休みを前に県内の感染者数が激増しており、心配な状況です。各家庭におかれましても、引き続き感染症対策や健康

管理に努めていただき、元気に夏休みを過ごすことができますよう願っています。尚、夏休み中も以下の対応をお願いします。

- ・検温はこれまで同様行い、検温フォームにて入力してください。
- ・お子さん・ご家族の方が濃厚接触者となった場合（PCR検査等を受けることとなった場合）、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、すぐに学校までご連絡ください。 ☎059-386-0039

※学校だより NO.3 (R4.5.2 発行) でもお知らせしましたように、夏季休業中の勤務日は、午後5時から翌日午前8時30分までを留守番電話対応とさせていただきますので、緊急の場合はメッセージを録音ください。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

